

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」名東校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		内部拡張工事を行い、今までより広いスペースを確保した。	
	②	職員の配置数は適切である	○		昨年度より常勤職員が1名増えた。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		一部段差があるが、必要に応じて声掛けを行っている。また、簡易の踏み台などを使用して対応している。	療育時にパーテーションを使用する際、倒れないための工夫が必要（天井に固定等）。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		用途に合わせて空間を仕切る事ができる為、能力に合わせる事が出来る。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		1 on 1 研修など法人研修や地域ユニット毎での他事業所連携をした業務改善を行っている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		適時、評価アンケートを活用していただき保護者様の意向を把握に努めている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		問題なし。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者評価を行っていない。	年1内部監査にて対応している。不十分なところは改善している。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月研修を行っている。	

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		見直し作業も行い更新を行っている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		全国のこどもサポート教室共通の標準化されたアセスメントツールにて情報を共有している。	発達段階に応じた適切な課題設定に今後ますます役立てていきたい。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		地域支援は行えていない。	支援会議にてニーズを把握し具体的な支援内容を設定していく。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		問題なし。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		個別・小集団・障害特性別など活動プログラムの立案に各指導員・児発管同士で連携している。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		児童に合わせた内容に取り組みめるよう支援している。	適時、季節に合わせたイベントや、非常災害時等、様々な支援を提供することに努めている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		必要に応じて支援している	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日ミーティングを行っている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		ミーティングなどで確認している。また、補助ツール（アプリ）などでスムーズな情報共有をしている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		ツールアプリを有効活用しながらミーティングで共有している。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		問題なし。	

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		問題なし。	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		要望に応じてご案内している。	
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	該当者なし。	随時相談を受け付けている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	該当者なし。	随時相談を受け付けている。
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		成長に合わせて必要な機関で過せるよう協力する。	
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		成長に合わせて必要な機関で過せるよう協力する。	
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		保護者様や相談員を通じて情報共有している。	
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	特別設けていない	必要に応じて今後検討する。
保護	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		名東区児童部会に所属し参加している。	
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回の支援後に指導員と保護者様のフィードバックを行っている。	
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	フィードバック時等で必要に応じてお声掛けしている。	
保護	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に書面を確認しながら行っている。	

者 へ の 説 明 責 任 等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		問題なし。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		必要に応じて面談等を行っている	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	必要と感じていない保護者が多いが、社内の他部門と協同し、保護者対象の講演会兼交流会を企画している。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		問題なし。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ホームページや公式LINE等を用いて情報発信に努めている。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵付き書庫等で保管している。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		LINE 等等など書面に残し確実に伝わるよう努めている。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		SNS や事業所前の手作り看板にて事業運営を知ってもらう活動をしている。	
非 常 時 等 の 対 応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		公式 LINE や事業所掲示物などで最新の情報を周知できるように努めている。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		備蓄品の点検や職員向けの防災訓練を実施。利用児童に防災学習を必要時行えるように努めている。	

④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に確認している。適時、内服薬の変更があれば情報提供をお願いしている。	
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時に確認している。個別対応している。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		実施している。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修に取り入れて周知している。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		ご家族に相談をして、了承を得てから取り組んでいる。	

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」名東校 保護者等数（児童数）：8 回収数：8 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	6	1		1		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	1				
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7			1		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	5	2		1		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7			1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	2	2		必要に応じて、今後検討いたします。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7			1		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	7	1				
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2	1	1	4		事業所内相談支援など、定期的にご案内をし、必要に応じて相談

							支援、助言をさせていただきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6	2			
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6		1	1	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		2	3	3	保護者会の開催を今後検討いたします。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	7			1	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7			1	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5	3			
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	7			1	
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4			4	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		2		6	テーマを定め、定期的に訓練を行います。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	7			1	日頃より、ご利用感謝申し上げます。子供たちに笑顔が届けられるよう努めて参ります。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	7			1	より一層、皆さまに喜んで頂けるよう、引き続き精進して参ります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。